

令和8年度「産地交付金」 県枠 (県が設定する県内共通の取組支援)

※国との協議等により、内容に変更が生じる場合がありますのでご注意ください

1 露地園芸作付拡大助成(継続)

「みやぎの園芸特産振興戦略プラン」の県振興品目の生産拡大に取り組む農業者に対して、支援開始前年からの拡大面積に応じ、5年を上限として支援します。

※2と同時に助成を受けることはできません。

拡大面積が
1ha以上 **50,000円/10a**
30a~1ha未満 **30,000円/10a**

2 露地園芸定着促進助成(継続)

「みやぎの園芸特産振興戦略プラン」の県振興品目を30a以上作付けする農業者に対して、作付面積に応じ支援します。

※1と同時に助成を受けることはできません。

交付単価 **10,000円/10a**

※令和6年度に大規模露地園芸助成・露地園芸助成を活用した農業者は、経過措置として引き続き当該助成を活用することも可能です。ただし、1・2とは同時に助成を受けることはできません。

3 新市場開拓用米の低コスト生産助成(拡充)

実需と連携した米の輸出等を行う産地づくりに向け、低コスト化に取り組む農業者に対して、作付面積に応じ支援します。

※**コメ新市場開拓等促進事業**と同時に助成を受けることはできません。

交付単価 **15,000円/10a**

4 加工用米の低コスト生産助成(拡充)

5 加工用米の複数年契約助成(拡充)

実需との安定的な取引を継続していくため、加工用米の低コスト化や複数年契約に取り組む農業者に対して、作付面積に応じ支援します。また、コメ新市場開拓等促進事業との**同時助成が可能**です。

※4と5は同時に助成を受けることはできません。

交付単価 **11,000円/10a**

6 飼料用米の低コスト生産助成(継続)

水田フル活用の主要な取組として定着、拡大を図るため、飼料用米の低コスト化に取り組む農業者に対して、作付面積に応じ支援します。

交付単価 **3,000円/10a**

7 大豆、麦類、飼料作物、WCS用稲の作付拡大助成(継続)

実需と結びついた大豆、麦類、飼料作物及びWCS用稲の生産拡大に取り組む農業者に対して、前年からの拡大面積に応じ支援します。

※対象作物間の作付転換により拡大した面積は対象としません。

交付単価 **7,000円/10a**

8 米粉用米の低コスト生産助成(継続)

小麦の代替として更なる需要拡大が期待される米粉用米について、低コスト化に取り組む農業者に対して、作付面積に応じ支援します。

※**コメ新市場開拓等促進事業**と同時に助成を受けることはできません。

交付単価 **3,000円/10a**

9 子実用とうもろこし生産性向上助成(継続)

国産飼料自給率の向上のほか、輪作作物の収量向上等の効果が期待できる子実用とうもろこしについて、生産性向上に取り組む農業者に対して、作付面積に応じ支援します。

交付単価 **6,000円/10a**



収入減少のリスクに備え、収入保険やナラシ対策(米・畑作物の収入減少影響緩和交付金)などのセーフティネットに加入しましょう!



需要に基づかない過剰作付けは

米価下落を招きます!

~再生産可能な米価実現のため、目安の徹底を!~

令和8年産主食用米「生産の目安」

62,422ha

(対前年実績 ▲2,878ha)

「生産の目安」は、皆様が安心して米づくりを続けていくための“道しるべ”です。

主食用米の過剰生産が進むと、民間在庫の増加により米価下落を招き、稲作経営に大きな影響を及ぼします。

未来の水田農業を守るため、転換作物との組み合わせによる主食用米の適正な生産に、ご理解とご協力をお願いします。

おすすめの転換作物は、次のページをご覧ください!



主な転換作物の推進目標(宮城県)

作物	令和8年(目標)	令和7年(実績見込)	令和7年(実績見込)との差
園芸作物	3,300 ha	3,221 ha	+79 ha
大豆	11,000 ha	10,102 ha	+898 ha
麦類	2,600 ha	2,555 ha	+45 ha
飼料作物	5,000 ha	4,900 ha	+100 ha
飼料用米	2,500 ha	3,330 ha	▲830 ha
WCS用稲	2,300 ha	2,261 ha	+39 ha
輸出用米(新市場開拓用米)	1,300 ha	815 ha	+485 ha
加工用米	2,000 ha	1,810 ha	+190 ha
米粉用米	80 ha	56 ha	+24 ha

宮城県農業再生協議会
(宮城県・JA宮城中央会・JA全農みやぎ)

令和8年2月発行

米価と農業経営の安定のために、各種交付金を活用し、**需要が見込まれる転換作物**に取り組みましょう!

～おすすめ転換作物と所得の目安～

主食用米を生産すると…

販売額 19.1万円 / 10a
 経営費 ▲7.9万円 / 10a
所得 11.2万円 / 10a

主食用米を作りすぎると、今後の米価がどうなるか心配だなあ…



●品種ひとめぼれ、単収 521kg/10a、販売単価 21,500円 / 60kgとして県農業再生協議会試算

作付転換すると…

イチオシ 今からでもできる! 主食用品種でコメ転作

交付金の活用により、主食用米に劣らない所得を確保

加工用米

販売額 17.3万円 / 10a
 交付金 3.1万円 / 10a
 経営費 ▲7.9万円 / 10a
所得 12.5万円 / 10a

輸出用米

販売額 16.1万円 / 10a
 交付金 3.5万円 / 10a
 経営費 ▲7.9万円 / 10a
所得 11.7万円 / 10a

- 品種ひとめぼれ、単収 521kg/10aとして県農業再生協議会試算
- 交付金内訳
 加工用米：戦略作物助成 2万円 / 10a、産地交付金(県) 1.1万円 / 10a
 輸出用米：産地交付金(国) 2万円 / 10a、同(県) 1.5万円 / 10a
- 上記の他にも、さらに交付金が受けられる場合があります。
 地域農業再生協議会へお問い合わせください。

交付金も含めると、所得は意外と多いのね!

米価が暴落しないように、転作してみようか!



オススメ 高収益化には野菜!

さらなる所得向上へ

(例) さつまいも

販売額 47.0万円 / 10a
 交付金 3.0万円 / 10a
 経営費 ▲24.5万円 / 10a
所得 25.5万円 / 10a

- 単収 2t/10aとして県試算
- 交付金は、産地交付金(県) 3万円 / 10a (拡大面積 30a~1ha 未満の場合)

オススメ 省力化には、やっぱり大豆!

労働時間当たりの所得は大豆が有利

大豆

9.3千円 / 10a・時間

主食用米

4.2千円 / 10a・時間

〔所得 56千円/10a〕〔所得 93千円/10a〕
 〔労働時間 6時間/10a〕〔労働時間 22時間/10a〕

- 10a 当たり所得及び労働時間(全国)は、農林水産省パンフレット「令和7年度経営所得安定対策等の概要」より引用

令和8年度「水田活用の直接支払交付金」の概要

戦略作物助成

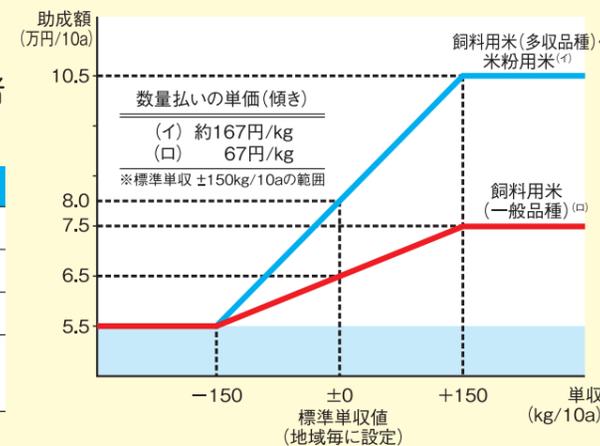
- 水田を活用して、麦、大豆、飼料作物、WCS用稲、加工用米、飼料用米、米粉用米を生産する農業者を支援します。

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	3.5万円 / 10a※1
WCS用稲	8万円 / 10a
加工用米	2万円 / 10a
飼料用米、米粉用米(右グラフ参照)	収量に応じ、※2 5.5万円~10.5万円 / 10a

※1 多年生牧草について、収穫のみ行う年は1万円/10aで支援。

※2 飼料用米の一般品種への支援は標準単価を年度毎に段階的に引き下げ、令和8年度の標準単価は6.5万円/10a(5.5~7.5万円/10a)とされます。

〈飼料用米・米粉用米の収量と交付単価の関係〉



産地交付金

- 地域の産地づくりに向けた取組を支援します。

〈国枠〉

取組内容	交付単価
そば、なたね、新市場開拓用米、地力増進作物の作付け(基幹作のみ)	2万円 / 10a
新市場開拓用米の複数年契約※3(3年以上の新規契約を対象に令和8年度に配分)	1万円 / 10a

※3 コメ新市場開拓等促進事業で採択された者が対象。

〈県枠〉

県が設定する産地交付金による支援を行います。(裏表紙参照)

〈地域枠〉

市町村の地域農業再生協議会が設定する産地交付金の助成がある場合、別途加算されます。(詳細は地域農業再生協議会にお問い合わせください)

畑地化促進助成

- 水田を畑地化し、高収益作物やその他の畑作物の定着等を図る取組等を支援します。

- ①畑地化支援(7万円/10a)
 - ②定着促進支援(2万円(加工・業務用野菜等は3万円)/10a × 5年間)
 - ③子実用とうもろこし支援(1万円/10a)
- 等

コメ新市場開拓等促進事業

- 実需者ニーズに対応するための低コスト生産等の技術導入の取組を支援します。

対象作物	交付単価
新市場開拓用米	4万円/10a※4
加工用米	3万円/10a※4
米粉用米(品種を問わない)	9万円/10a※4
酒造好適米【新規】	最大3万円/10a※5

- ※4 多収品種を作付けする場合は0.5万円/10aを加算
- ※5 1年当たり1万円/10a×最大3年間

- 農業者等と実需者との販売契約の締結が必要です。
- 地域農業再生協議会単位で、取組面積等の評価基準(ポイント)に基づき、予算の範囲内で採択されます。
- 以下の交付金と同時に助成を受けることはできません。
 戦略作物助成(加工用米、米粉用米)
 産地交付金 国枠(新市場開拓用米の作付け)
 産地交付金 県枠③、④